

輝く!島人インタビュー

【プロフィール】

國吉 佳代(くによしかよ)さん

埼玉県出身。久米島町社会福祉協議会 職員

21歳の時にホテルのアルバイトで初めて久米島に来島。その後、24歳で久米島に移住。32歳の時に久米島町社会福祉協議会に入り、現在は**民生委員児童委員協議会事務局**、ボランティア、ふれあいサロンを担当している。

島コンたいむす
インタビュー編



Q.「まずは社会福祉協議会(以下、社協)のお仕事について教えてください」

「たくさんありますよ!民生委員児童委員協議会や老人クラブ連合会事務局、赤い羽根募金事務局、デイサービス、保育園、障がい者関係…子どもから高齢者まで幅広く関わっている仕事。「社協の仕事」と聞かれて一言で答えるのは難しいけど、あえて言うとしたら、**目指しているのは『地域力を高めること』**かな。

地域力っていうのは地域の繋がりのこと。いま社協では困っている方の支援・サポートをしているけれど、地域の困りごと全てを社協で担うには限界があるよね。例えば、災害のとき足腰の悪いお年寄りを社協の職員が一軒一軒周って助けに行っていたらすごく時間がかかるてしまう。でも、もし地域の人同士の繋がりが強ければ、近所の人が『一緒に避難しよう!』って連れて行ってくれるでしょ?この方が断然早いよね!**本当に困ったときに助けてもらえるのは地域の繋がり。**だから、社協が何でもするのではなく、いま地域で活動している方々が活動しやすいように支援するような裏方の仕事をしています。」

Q.「ご自身も一住民として地域で多くの活動をされていると聞きました」

「仕事で皆さんにボランティアをお願いしている立場上、自分自身も一人の地域住民として自分のできる範囲のことはするようにしています。

最近は、自分が移住してきた頃に比べると地域力が弱まっていると思うことがある。昔はハーリーでも地域のおばあたちがいっぱい海に入って応援していたのに、最近はそういう人も少なくなってきた。地域の組織(子ども会、青年会、婦人会、成人会、老人会)も縦割りで横のつながりが少なかつたりするからね。だから、また地域のみんなが繋がって関わる機会が増えればいいなと思って、地域の行事に仮装しながら子供たちと一緒に参加したり、子ども会を見ていた頃は青年会や老人会、地域の人たちに協力してもらひながらイベントをしていました。今は大好きなバレーで地域に貢献できたらと思い、一般チームの仲間と一緒に中学・高校バレー部と練習試合をしたり、鬼コーチ(?)として中学校へ行かせてもらっています。でもこれは特別なことじゃなくて、普通のこと。**大人がいろんな関わりを持ちながら楽しく活動する姿を見せていたら、子どもたちも将来普通に活動してくれると思う。それができたら地域力もまた高まっていくのかな**と思っているよ。」

今回のインタビュアは上江洲でした

ありがとうございました!

もっと詳しく読みたい、他の方のインタビューも読みたい方は、「久米島 島ぐらしガイド」で検索

島コンニュース

地域の世話役養成塾への参加者募集!

地域と移住者の“つなぎ役”を担う人づくりとして沖縄県が開催する「地域の世話役養成塾」に参加する方を募集しています!

【開催日程】

第1回／7月20日
第2回／8月21日
第3回／10月10日
第4回／未定

※時間は久米島から日帰り可能な時間(13時半~16時半くらい)を予定

【開催場所】

那覇市内(回によって変更あり)

【募集人数】

2人

【旅 費】

那覇～久米島往復の航空費及び那覇市内での交通費等は支給(町職員の旅費に関する条例に基づき支給)

【応募資格】

・4回の養成塾へすべて参加できる方

・養成塾で学んだことについて、町へ

簡単なレポートを作成して提出ができる方

・養成塾終了後、“地域と移住者のつなぎ役”として町の移住・定住推進事業にご協力いただける方

【応募方法】

町のHPから申込書をダウンロードし、必要事項を記入したのち、企画財政課担当者(島袋)まで提出

【応募締切】

7月7日(金)

お問合せ

企画財政課 移住定住相談窓口 「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」

HP:<http://www.shimagurashi.net> 「久米島 島ぐらしガイド」で検索

活動場所:仲原家(久米島町字真謝20)／毎週火～土 10時～16時／土日祝休み

Tel/Fax:098-894-6488 Mail:info@shimagurashi.net

Facebook:「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」 Instagram:「kumejima_shimagurashi」

